

## 市内地域公共交通に関する検討調査

### 市内循環バス(MMシャトル)利用者アンケート調査結果

#### 【目 次】

3. 市内循環バス(MM シャトル)利用者アンケート調査結果.....	1
3.1 実施の概要.....	1
3.2 利用者特性(属性).....	1
3.3 市内循環バスの利用実態(問 1-1、1-2、1-3、1-4、1-5).....	3
3.4 利用における満足度・意識(問 2、3).....	10

パシフィックコンサルタンツ(株)

平成23年8月



### 3. 市内循環バス(MM シャトル)利用者アンケート調査結果

#### 3.1 実施の概要

##### (1) 調査概要

【調査対象】 市内循環バス利用者

【実施日】 平日調査：平成 23 年 4 月 20 日（水）

休日調査：平成 23 年 4 月 17 日（日）

【実施方法】 実施日の市内循環バスの全車両において、乗車客に対してアンケート票を配布し、郵送にて回収

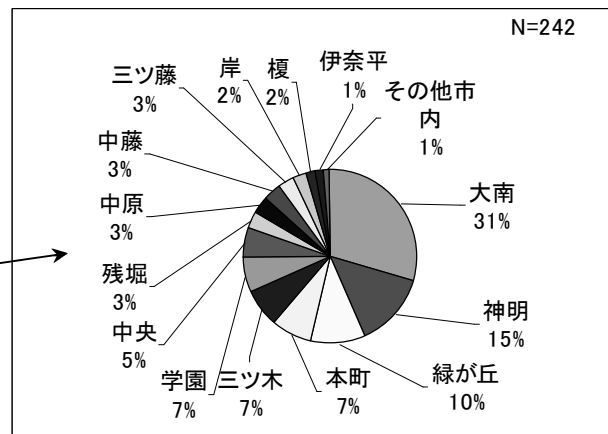
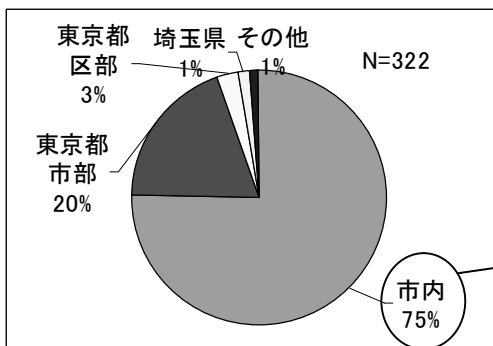
##### (2) 回収結果

	①	②	①/②	有効回答数
	配布枚数	回収枚数	回収率	
4月20日(平日)	544			
4月17日(休日)	317			
合計	861	338	39%	337

#### 3.2 利用者特性(属性)

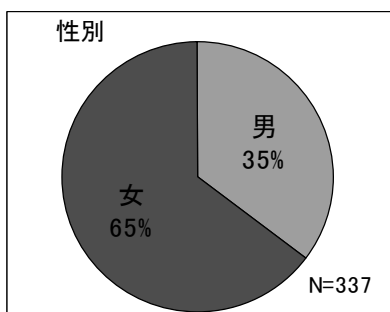
##### (1) 住所

- ・利用者の居住住所は、75%が市内で、東京都市部（東大和市、立川市で半数）が約2割となっている。
- ・市内の構成をみると、大南（31%）、神明（15%）、緑が丘（10%）、本町（7%）などとなっている。



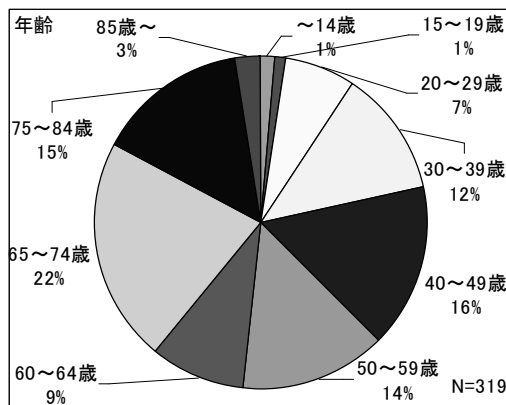
##### (2) 性別

- ・女性の利用者が6割以上を占める。



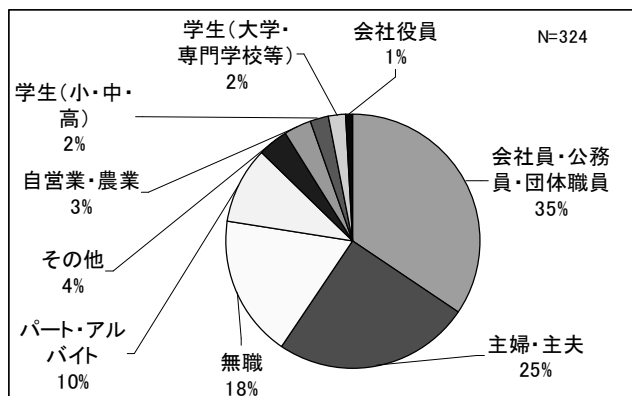
### (3) 年齢

・65歳以上の利用者で約4割を占める。20歳未満は2%と少ない。



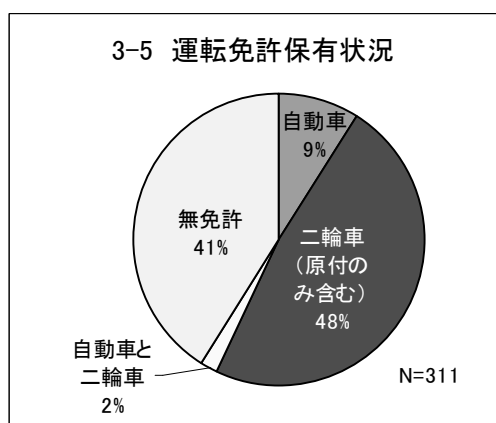
### (4) 職業

・職業で多いのは、「会社員・公務員・団体職員」で、次いで「主婦・主夫」「無職」となっている。



### (5) 自動車運転免許保有状況

・自動車運転免許を保有している人は約10%と少ない。



### 3.3 市内循環バスの利用実態(問 1-1、1-2、1-3、1-4、1-5)

#### (1) 乗降バス停(アンケート票記載の情報を集計)

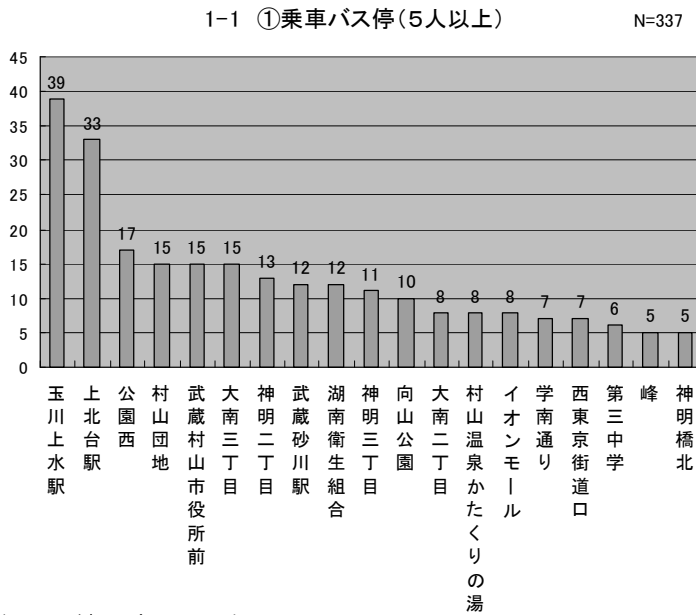
・乗車バス停で多いのは、

(上北台ルート) 上北台駅、武蔵村山市役所前、神明二丁目、神明三丁目、向山公園

(玉川上水ルート) 玉川上水駅、公園西、村山団地、武蔵村山市役所前、大南三丁目、湖南衛生組合

(武蔵砂川ルート) 武蔵砂川駅

(西循環ルート) 武蔵村山市役所前



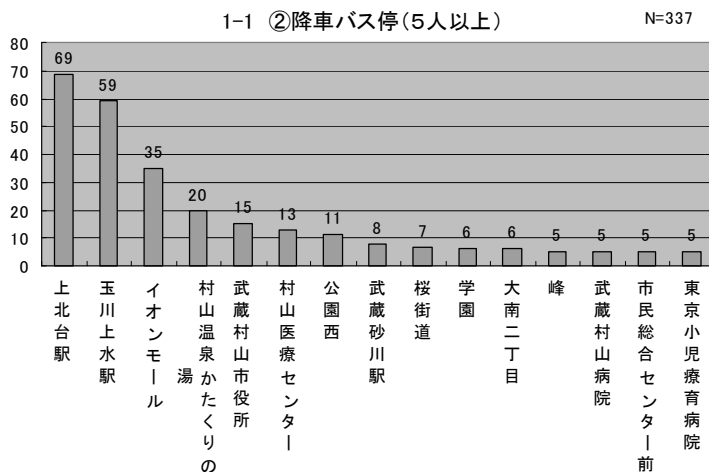
・降車バス停で多いのは、

(上北台ルート) 上北台駅、村山温泉かたくりの湯、武蔵村山市役所前

(玉川上水ルート) 玉川上水駅、イオンモール、村山温泉かたくりの湯、武蔵村山市役所前、村山医療センター、公園西

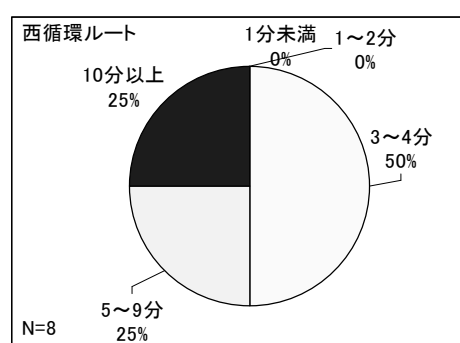
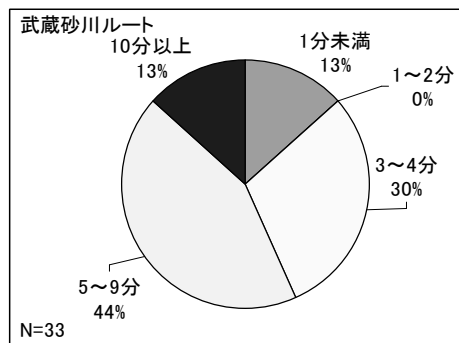
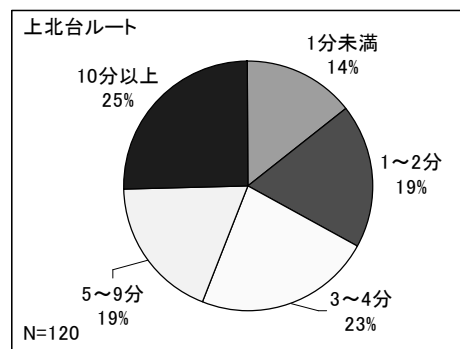
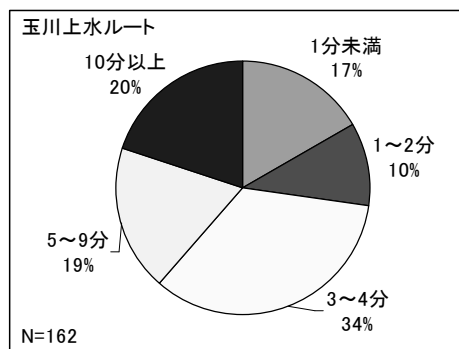
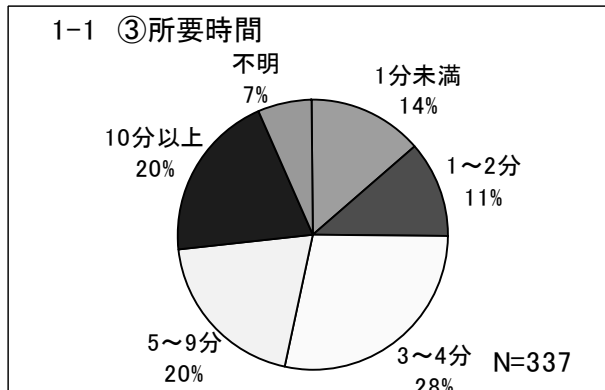
(武蔵砂川ルート) イオンモール

(西循環ルート) イオンモール、村山温泉かたくりの湯、武蔵村山市役所前



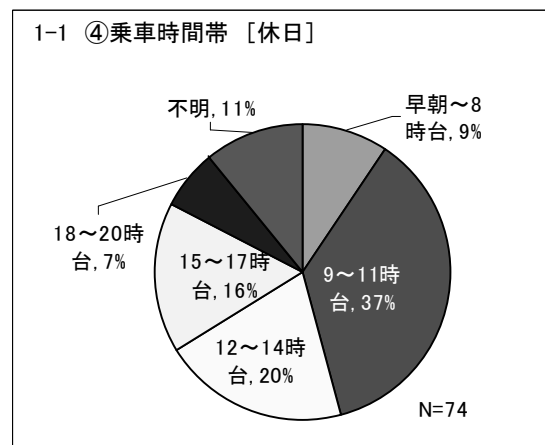
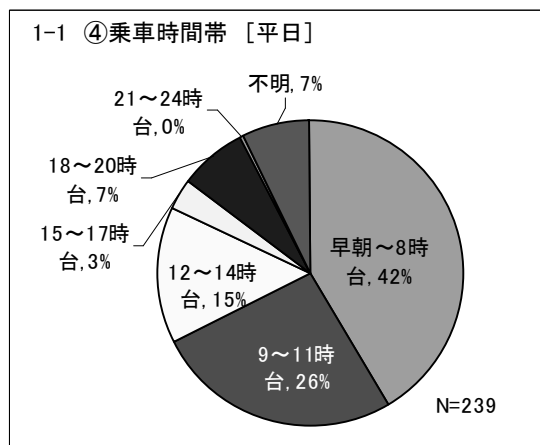
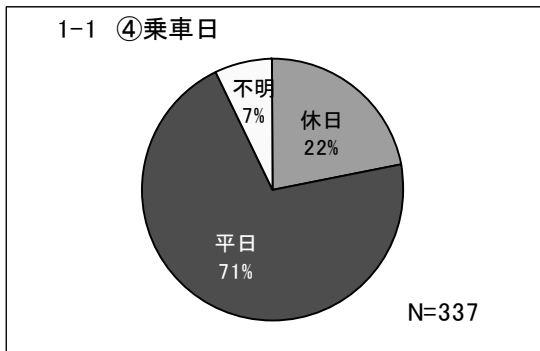
## (2) 乗車バス停までの所要時間

- ・ 出発地から乗車バス停までの所要時間は、徒歩4分以内が5割以上を占める。
- ・ ルート別にみると、サンプルの多い玉川上水ルートや上北台ルートは5分未満が半分以上となっており、他のルートに比べて出発地からバス停までが少し近い傾向にある。



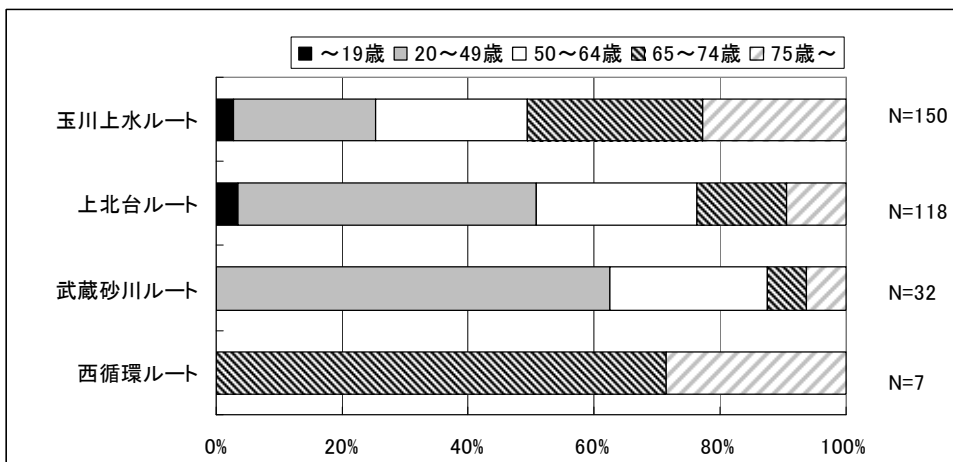
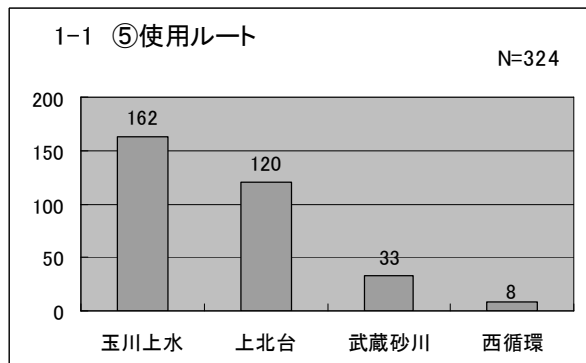
### (3) 乗車日・乗車時間帯

- ・平日利用者が約7割という結果となっているが、平日、休日両方に○を付けた人は平日利用者とみなしたため、実際は配布数の比率に近いと考えられる。(平：休=63%:37%)
- ・乗車時間帯は、平日は4割以上が「早朝～8時台」で午前中だけで7割弱を占め、休日は4割弱が「9～11時台」で9時から17時までで7割以上を占める。



#### (4) 乗車ルート

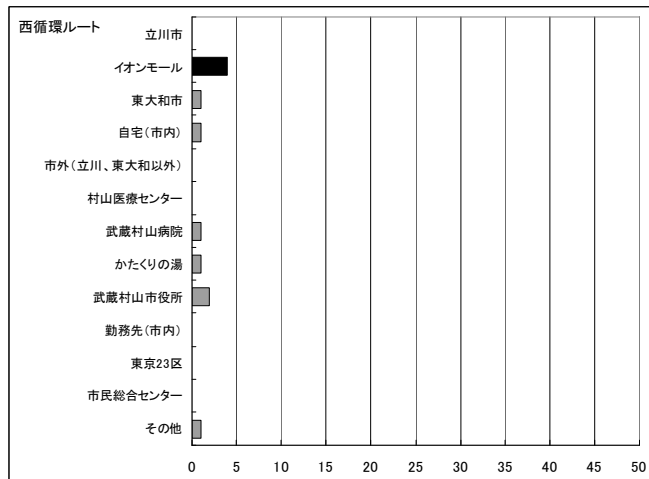
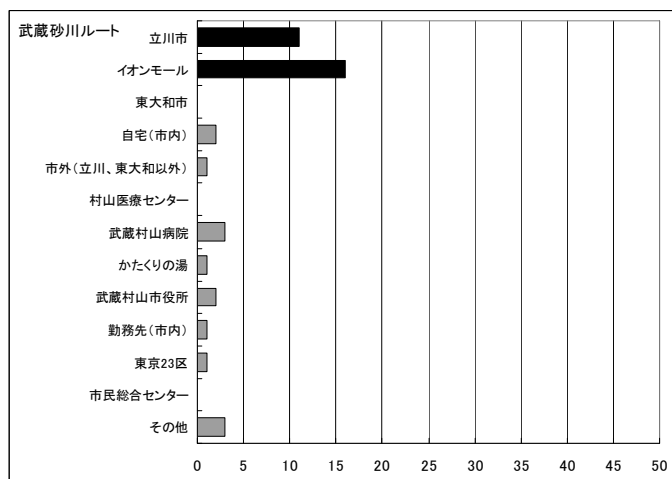
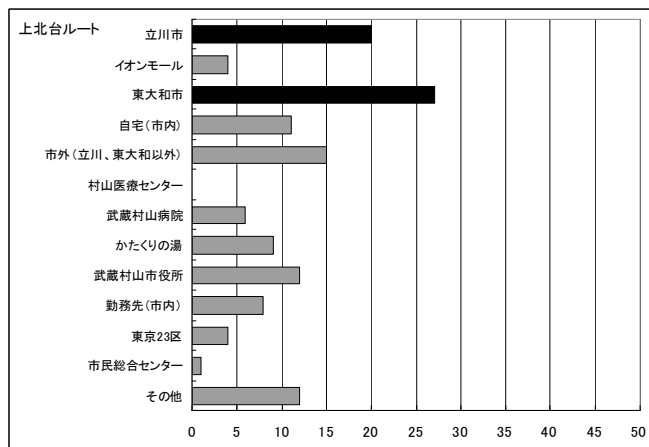
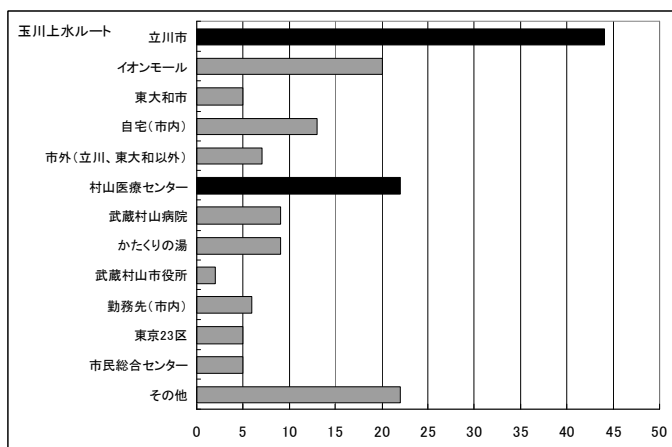
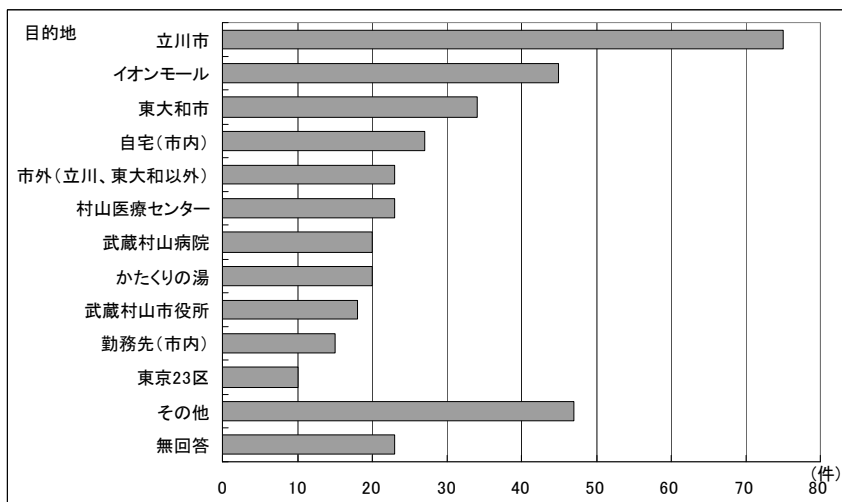
- ・乗車ルートは玉川上水ルート、上北台ルートが多くを占める。
- ・乗車ルート別に、利用者の年齢階層を見ると、玉川上水ルートや西循環ルートは65歳以上の利用が目立ち、上北台ルートや武蔵砂川ルートは生産年齢人口の利用が中心という傾向がある。





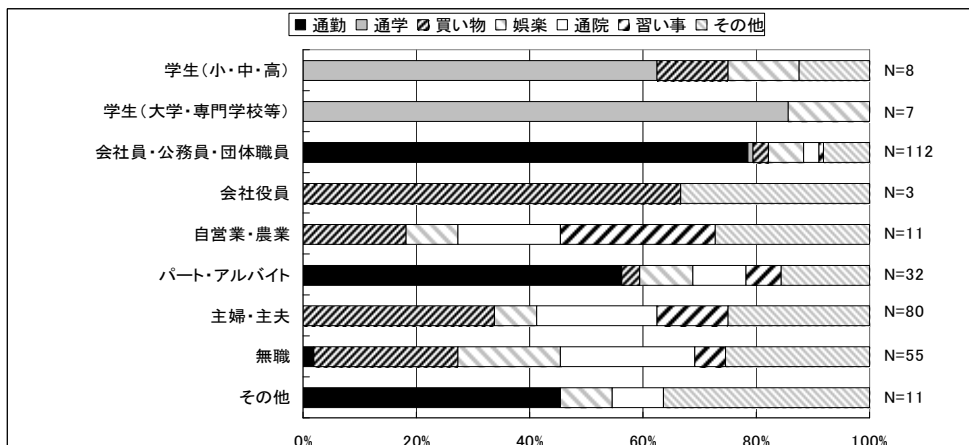
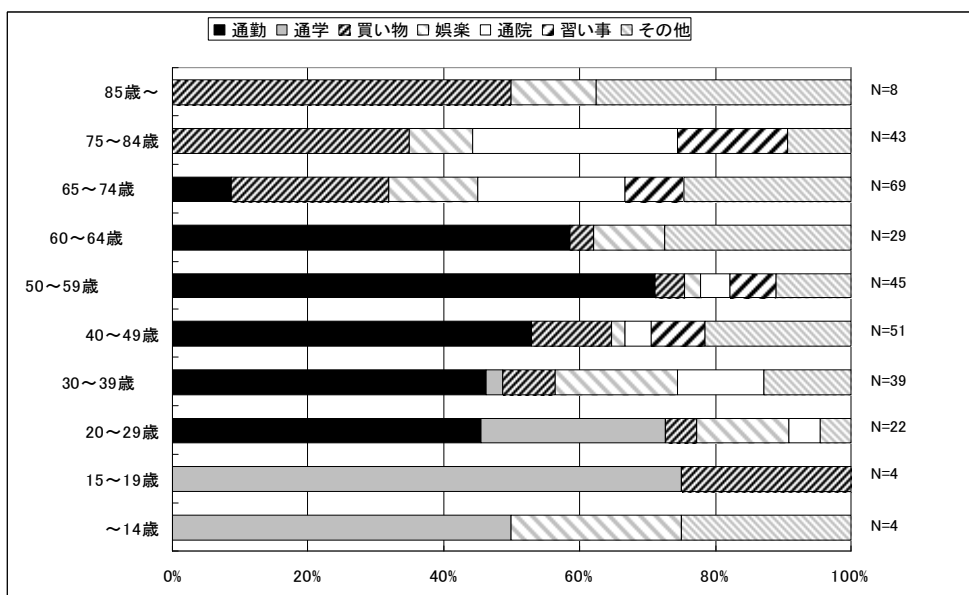
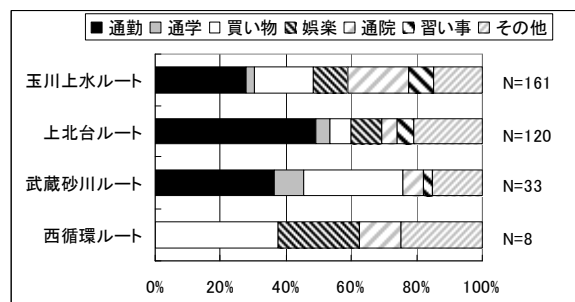
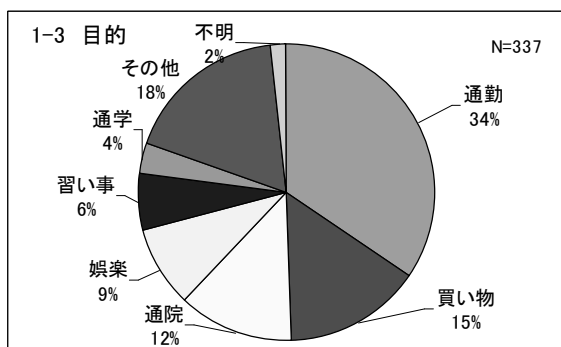
## (5) 目的地

- ・目的地で多いのは、立川市（立川駅を始め立川市内の商業施設、医療施設など）、イオンモール、東大和市（上北台駅を始め東大和市内の商業施設など）、市内の自宅、村山医療センターなどである。
- ・ルート別に目的地をみると、玉川上水ルートは立川市や村山医療センター、上北台ルートは立川市や東大和市、武蔵砂川ルートは立川市やイオンモール、西循環ルートはイオンモールが多い。



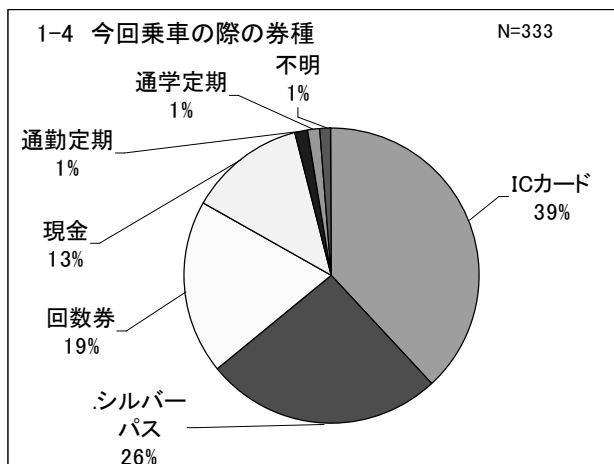
## (6) 目的

- ・バス乗車の目的で最も多いのは「通勤」で、全体の1/3を占める。次いで多いのは買い物、通院となっている。
- ・利用ルート別にみると、上北台ルートは通勤目的が多く、玉川上水ルートや武蔵砂川ルートは通勤目的も多いが、買い物利用も多くみられる。
- ・年代別にみると、20～64歳は通勤目的が多く、それより下の世代は通学や娯楽、上の世代は買い物や通院、習い事を目的とした多い傾向がある。
- ・職業別にみると、会社員やパートは通勤目的、学生は通学目的という傾向が明確に出ている他、会社役員や主婦は買い物目的が多い傾向が見られる。



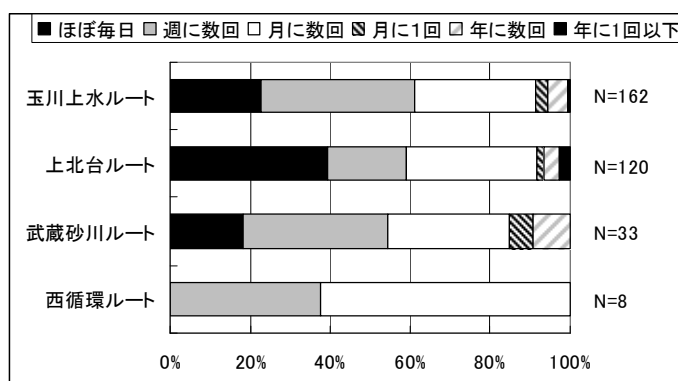
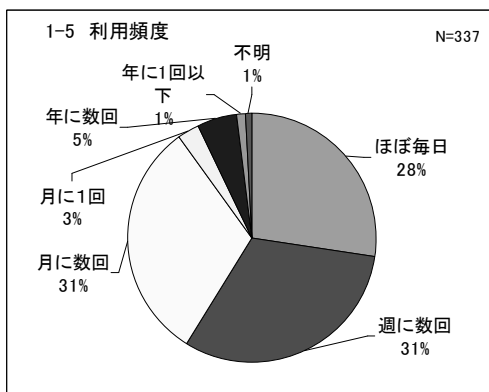
### (7) 利用券種

- ・利用券種で多いのは「ICカード」で約4割を占め、次いでシルバーパス、回数券となっている。



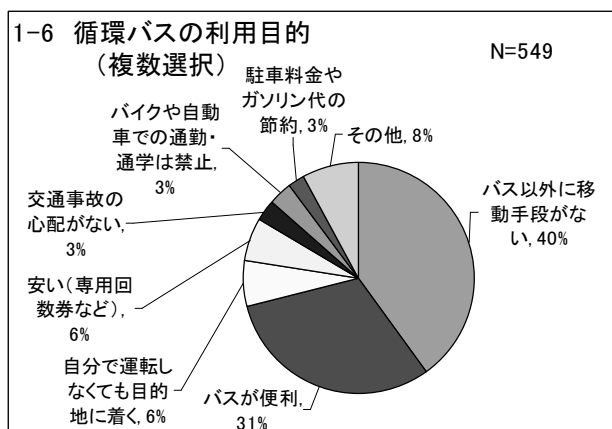
### (8) 利用頻度

- ・利用頻度で多いのは、週に数回もしくは月に数回で、月に数回以上利用する人が約9割となっている。
- ・上北台ルートはほぼ毎日使用している人が多い傾向があり、通勤目的が多いという傾向と一致している。



### (9) 利用理由

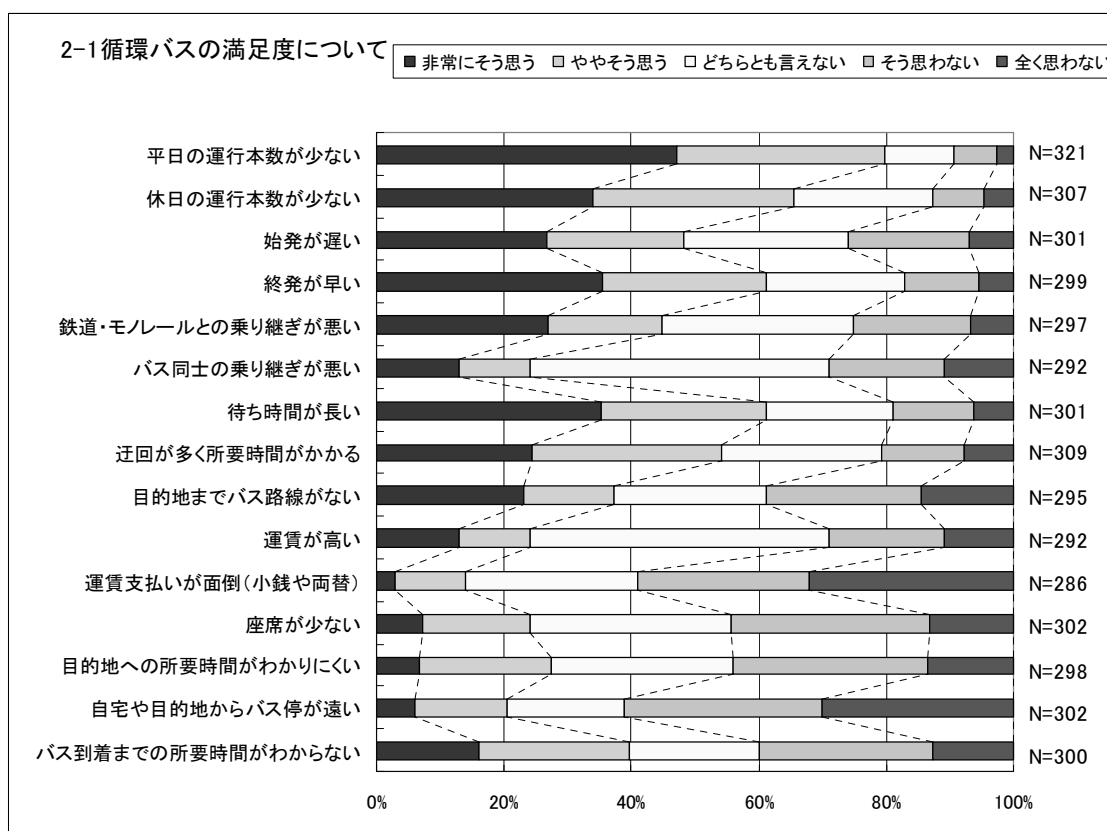
- ・市内循環バスを利用している理由として最も多いのは、「バス以外に移動手段がない（約4割）」で、次いで「バスが便利（約3割）」などであり、料金や経費に関しては余り選ばれていない。

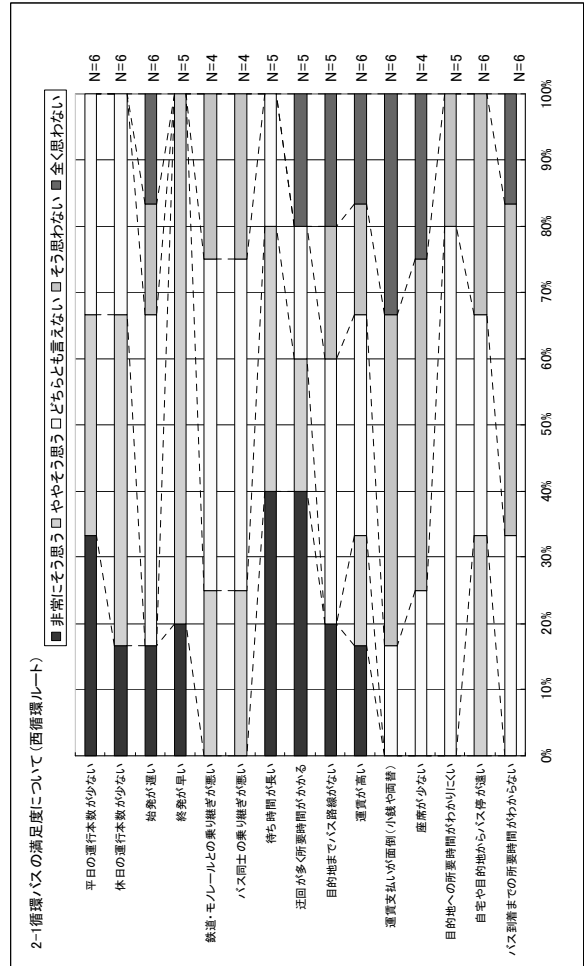
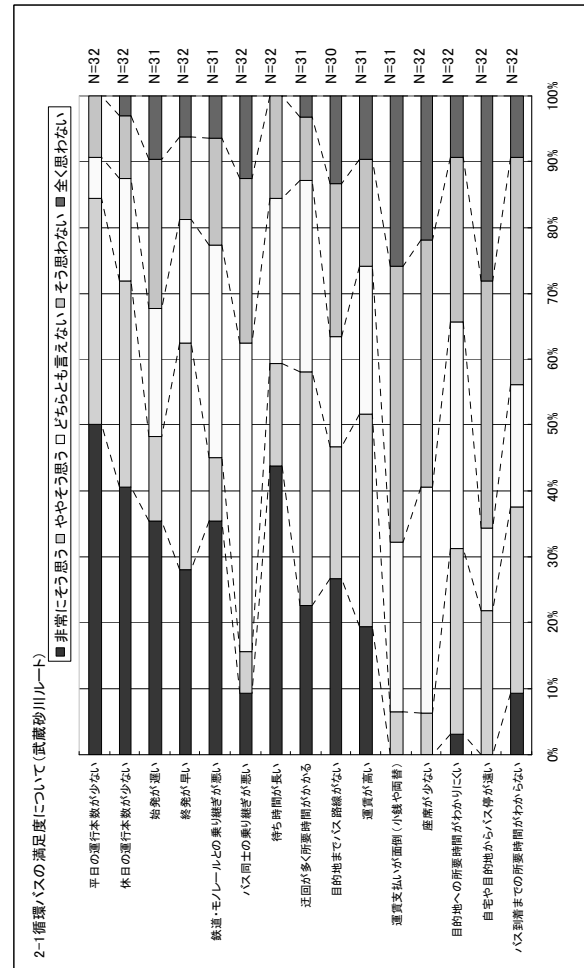
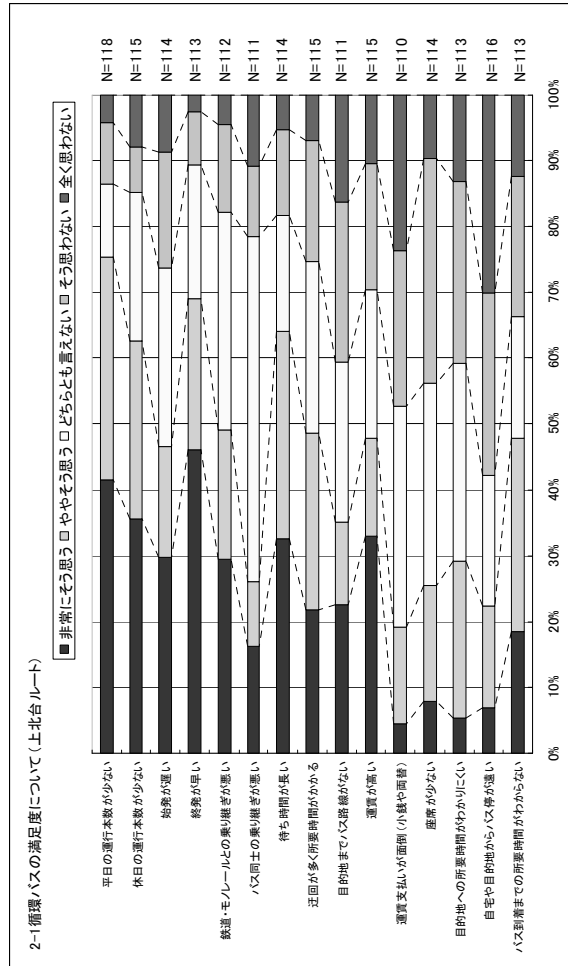
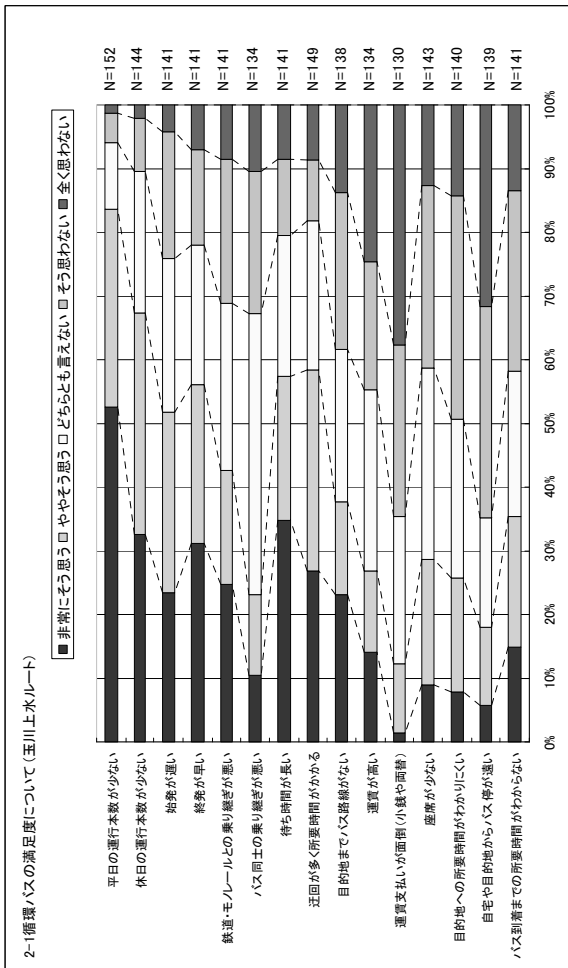


### 3.4 利用における満足度・意識(問 2、3)

#### (1) バスサービスに対する意識

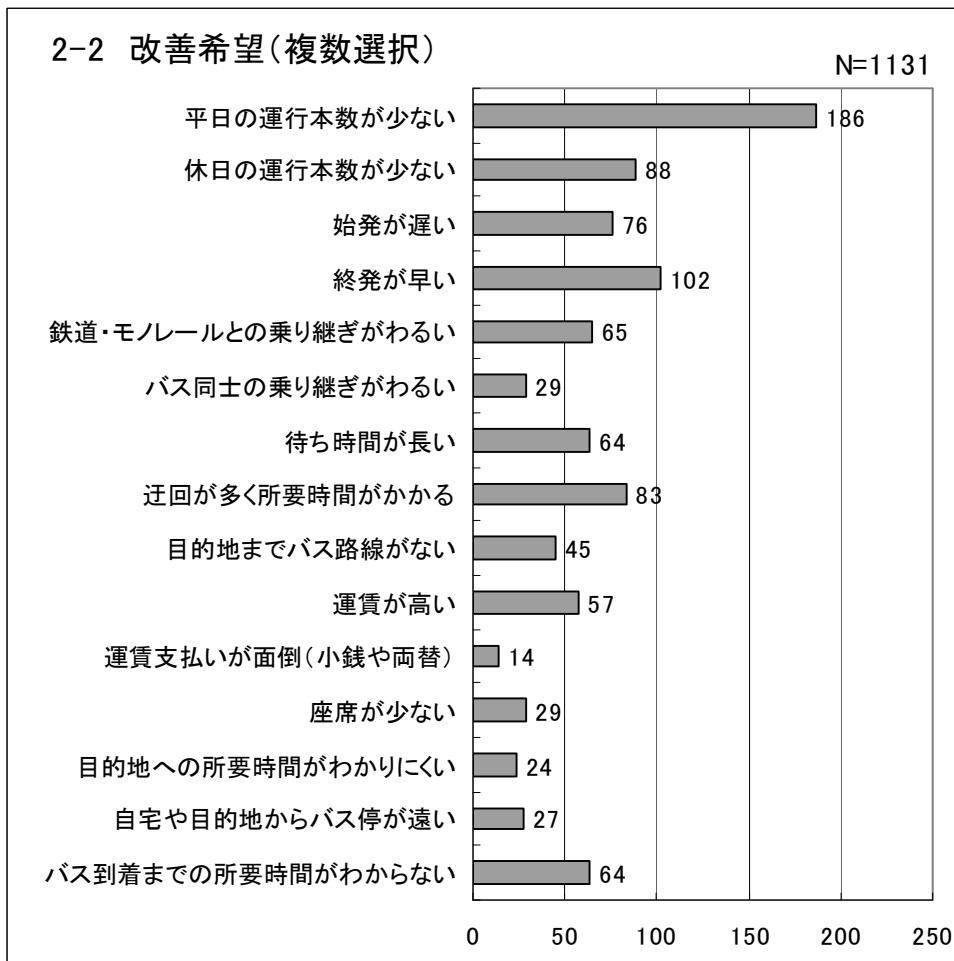
- ・市内循環バスの問題点として強く意識されているのは、「運行本数が少ない(平日、休日)」、「終発が早い」「待ち時間が長い」「迂回が多く所要時間がかかる」といった事項である。
- ・問題点としては余り強く意識されていないのは、「自宅や目的地からバス停が遠い」「運賃支払いが面倒」「目的地への所要時間が分かりにくい」「座席が少ない」といった事項である。
- ・すなわち、ダイヤやルート(運行本数、始終発の時間設定、所要時間)に対する問題意識が強く、バス停、車内、運賃に対する問題意識は少ないと考えられる。
- ・乗車ルート別にみても概ね同じような傾向が現れているが、上北台ルートにおいては、「運賃が高い」という意見が比較的多い。



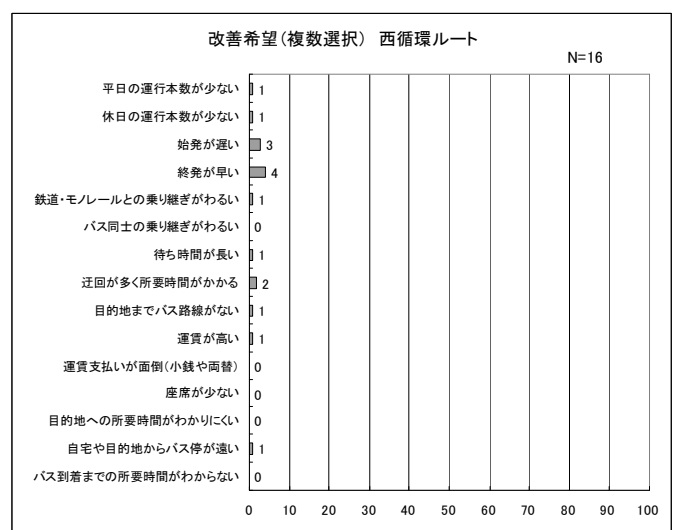
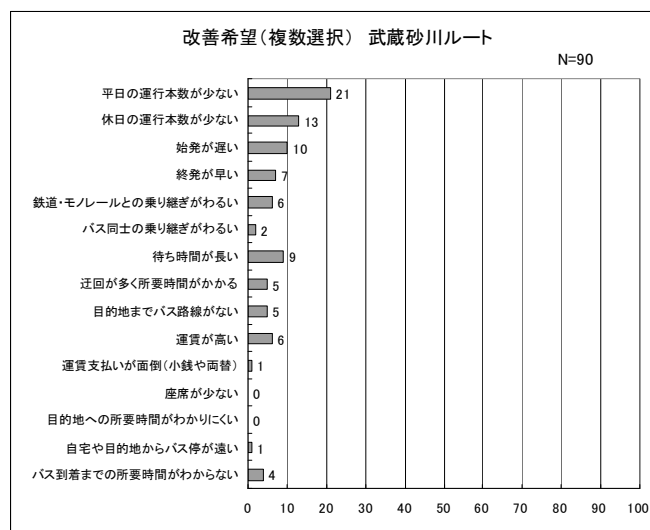
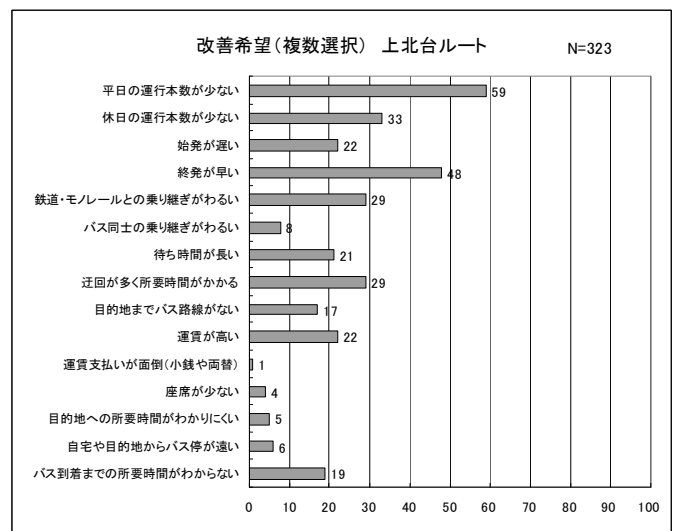
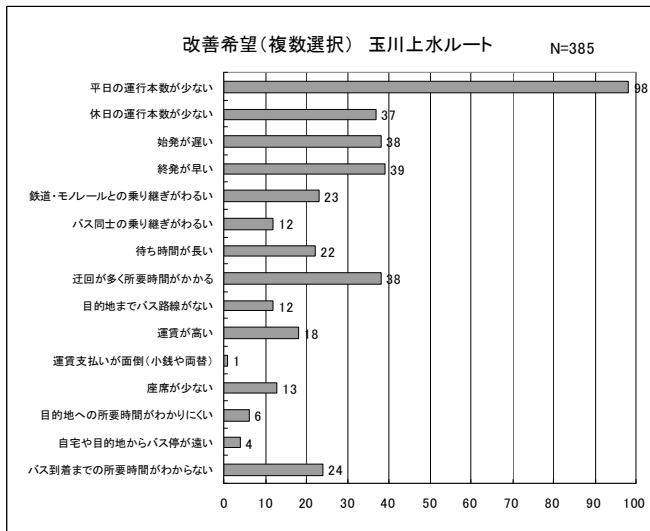


## (2) 改善して欲しい市内循環バスの問題点

- ・改善要望が多いのは「平日の運行本数の少なさ」であり、次は「終発が早い」「休日の運行本数が少ない」「迂回が多く所要時間がかかる」となっており、運行本数に対する改善要望が強い。



- ・ルート別にみると、「平日の運行本数の少なさ」の改善を求める意見は玉川上水ルートでより多くみられる。
- ・上北台ルートでは、「終発が早い」「モノレールとの乗り継ぎが悪い」といった意見が比較的多くなっている。



### (3) バスサービスに対する総合評価

- ・総合評価として、満足度は38%、不満足度は23%で、比較的満足度が高い。
- ・ルート別にみると、玉川上水、上北台、武蔵砂川の3ルートは同じような傾向で、満足度は4割前後で、不満足度が20~25%となっている。
- ・西循環ルートはサンプルが少ないが、満足度は高い結果となっている。

